



各 位

平成 25 年 10 月 16 日

会 社 名 株式会社イーエムシステムズ
 代 表 者 名 代表取締役社長 國光 浩三
 (コード番号 4820 東証 第一部)
 問 合 せ 先 取締役執行役員管理本部長 青田 玄
 (TEL 06-6397-1888)

第 2 四半期業績予想 (連結・個別) の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期の第 2 四半期の業績予想数値 (連結・個別) を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日) 業績予想数値の修正

① 連結業績予想数値の修正

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当り 四半期純利益
前回発表予想 (A)	5,370	435	737	425	55.16
今回修正予想 (B)	4,944	610	918	576	74.02
増減額 (B - A)	△ 425	174	181	150	
増減率 (%)	△ 7.9%	40.2%	24.6%	35.4%	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	4,939	400	677	414	53.95

② 個別業績予想数値の修正

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当り 四半期純利益
前回発表予想 (A)	5,320	419	673	418	54.28
今回修正予想 (B)	4,877	586	858	571	73.37
増減額 (B - A)	△ 443	166	185	152	
増減率 (%)	△ 8.3%	39.7%	27.6%	36.4%	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	4,888	373	640	403	52.59

2. 第 2 四半期の業績予想数値の修正理由

当第 2 四半期連結累計期間は、前第 4 四半期の販売が好調であった反動を受け、第 1 四半期の販売は調剤システム、医科システムともに低調に推移いたしました。第 2 四半期は調剤システム、医科システムともに案件が回復し、調剤システムの販売は計画通りに進捗し、医科システムの販売も計画に未達となったものの前年同期より大幅に増加いたしました。一方、経費面では、医科システムの販売状況を鑑み医科専任インストラクターの中途採用計画の一部を下期以降に見送ったことによる人件費の未消化が発生したことや、定期的なお客様訪問により機器等の故障を未然に防ぐ活動を強化したことでアフターサービス費並びに製品保証引当金が低下したこと、南京 BPO の業務範囲拡大などによる継続的なコストダウンの取り組みにより、期初の予想を下回る見通しとなりました。

この結果、売上高は期初の予想を下回るものの、営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては、期初の予想を上回る見通しとなりました。

なお、通期の連結及び個別業績予想につきましては、円安に伴う PC 等の仕入価格の高騰や消費税増税に伴う需要高がどの程度影響するのかが不透明な状況であることから、現段階では計画数値を据え置くことといたしました。

(注) 本資料における予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上